

大館市の未来を創る会 ふもと幸子通信

第6号 2023年3月発行

みんなで大館市の未来を語りました!

「みんなで大館市の未来を語る会」は、ふもと幸子が語り、皆様の意見をお伺いする対話型の集会です。1月8日の比内公民館を皮切りに、市内各地で25回開催され、参加人数はのべ約570人となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。うれしいことに、赤ちゃんから90代まで、実に幅広い年代の方の姿があり、意見交換や質疑応答も実に活発でした。

「2人の子どもがいるが、保育園になかなか入れず待機児童になり、実家に手伝ってもらったこともあった。子どもを育てる環境があまりよくない。子どもを遊ばせる施設がまだ少ない」(30代男性)「市議会の傍聴席が少なく、そこに入れないと椅子もない1階を案内された。障がい者に優しくないと」(60代女性)「扇田病院無性化方針を打ち出すなど、高齢者を大切にしない市政と感じる」(70代男性)「免許返納し交通手段がなくなり、mobiを頼んでも受け付けてくれず困った」(70代女性)「他に市町村に比べて魅力がない。市民が自慢できる市にしてほし

い」(70代男性)「若い方々に多くの負担をかけないように、10年、20年先も維持できる市政を考えていただきたい」(60代女性)。

そして、多くの市民が、少子高齢や人口減少に課題を感じ、「このままだと地域がなりたたない」「暮らしはどうなる?」と不安を口にしています。「若者が安心して暮らせる大館市にしてほしい」「30代、40代の人たちが地元に戻り子育てできるまちにしたい」など、シニア世代から、若年層の定着・Uターン促進の要望が多くみられました。また「後継者問題などがあり、農業の現状と将来がどうなるのかと思う」と産業振興の観点からの発言もありました。「交流人口ではなく定住人口を増やしてほしい」「住んでいる私たちが満足いくまち、魅力のあるまちにしたい」という声も多かったです。

皆様の意見を伺い、ふもと幸子がつくりましたのが、「おおだて未来共生都市構想」と5つのビジョンです。裏面に掲載されています。どうぞご覧ください。

市内各地で25回開催された集会の様相



ふもと幸子
決起集会開催!

「みんなで大館市の未来を語る会大報告会」
4月12日(水)午後6時~(午後5時より受付開始)
ほくしか鹿鳴ホール中ホール

お誘いあわせの上、ご参加ください(予約不要・無料)。
託児あり。赤ちゃん・お子様連れ大歓迎!



ふもと幸子プロフィール 作家・ジャーナリスト/社会福祉士、元日経ウーマン編集長

1962年大館市生まれ。筑波大学卒業。法政大学大学院経営学研究科修了。日経BP執行役員、内閣府や文部科学省、林野庁の有識者委員等を経て、2019年にUターン。著書に『地方を変える女性たち』(日経BP)他著書多数。子ども2人に孫3人。

医療・福祉・産学・ラボ・デジタルでつくる おおだて未来共生都市構想

少子高齢、人口減少という課題に挑み、医療・福祉・健康産業を基軸とし、デジタルと技術を活用し、年齢や性別、障がいの有無に関係なく、みんなが生きがいを持って安心・安全に暮らせる未来共生都市をつくります。

ビジョン
1

高齢社会をしっかりと支える 医療と福祉の最先端都市に

高齢化率4割の大館では、医療・福祉・健康が産業振興の核となります。医療・福祉は若年層の雇用を生み出し、若者の定着を促進し、地域経済を循環させます。そして行政と大学と企業、産官学連携でラボを創設し、高齢社会や認知症を研究し、実証実験するまちにします。北東北のど真ん中に、世界に先駆けた医療と福祉の最先端都市をつくります。

ビジョン
2

1年に赤ちゃん500人! 今の倍の出生数に!

人口6万7865人の大館市のゼロ歳児は292人(令和5年2月末現在)。1年で300人も子どもが生まれません。私は、母親の経験を存分に生かし、安心して子育てできるまちに、出生数を500人に増やします。託児室開設や18歳の進学支援拡充など、出産前後から成人になるまできめ細やかな伴走型の子育て支援をします。

女性政治家を増やそう/ 一般財団法人WINWIN推薦

代表理事 赤松良子(元文部大臣)

ビジョン
3

「おおだて女性デー」を制定、 日本一女性が暮らしやすいまちに!

若い女性の流出が少子化の大きな原因です。私は日本一女性が暮らしやすいまちに、女性の定着・Uターンを促進します。国際女性デーにならない、女性に感謝し功績をたたえる大館市独自の記念日を制定します。男性の育児参画をすすめ、女性の負担を減らし、就業継続を可能にし、企業や商店街を巻き込んで、女性の満足度を高める機会創出と健康増進を図ります。

ビジョン
4

ふるさと納税50億円達成で、 農林業振興、地域経済を豊かに!

若い世代の就農・営農を支援し、大館市の農林業をしっかりと支えます。そして、きりたんぼや比内地鶏、曲げわっぱなどの特産品をデジタルを活用し国内外に販売、ふるさと納税による寄付額を現在の5倍の50億円にします。温泉やスポーツ施設を活用し、食と健康をテーマにした観光を打ち出し、地産外商で地域経済を豊かに、収益を向上させます。

ビジョン
5

寝たきりゼロ宣言! 健康長寿のまちをつくる!

人生100年時代、認知症や寝たきり予防に注力し、フレイル(虚弱)対策促進で健康長寿を実現します。地域医療を守り、医療と介護の連携体制を構築し、町内の見守り支え合い体制を推進、在宅生活を支えます。高齢者がスマホを使いこなせるように支援し、防犯・防災・減災・防疫に役立て、いつまでも安心・安全に暮らせるまちにします。

ふもと幸子と秋田おばこの会(後援会)にご入会ください!



サポーター
募集中!

ご入会ご希望の方は、下記にご連絡ください。ホームページからもご入会手続きが可能です。

【ふもと幸子と秋田おばこの会】

〒017-0044 秋田県大館市御成町3丁目3-2 旧石母田医院内

TEL 0186-59-8277 FAX 0186-59-8278 携帯 090-5396-9037 (事務局)

メール fumoto.akita.obako@gmail.com ホームページ fumotosachiko.com



ふもと幸子の
SNSです



Facebook

ふもと幸子が
投稿しています



Instagram

「本日の幸子」と称し
毎日更新中です



Twitter

インスタグラムと
連動しています



YouTube

ふもと幸子の
動画はこちらです!



TikTok

ふもと幸子の同級生が
応援してくれています